

「超上流工程における要求分析への科学的アプローチ」研究会

第2回勉強会のご案内

2015年7月13日

情報システム学会同上研究会発

1. 日時：2015年7月27日（月）午後2時～午後5時

2. 場所：株式会社プライド会議室

■場所

株式会社プライド

東京都千代田区二番町14番地 日本テレビ麹町ビル西館4F

TEL：03-3239-5431

FAX：03-3239-5432

■アクセス

<http://www.naska.co.jp/access/>

有楽町線の「麹町駅」6番出口を出て、進行方向50mくらい先の道沿いにローソンが見えます。そのローソンの手前右手に麹町ビル西館の玄関があり、入るとエレベータホールがあります。

4Fでエレベータを降りて左方向の突き当りにプライド事務所があります。

3. 発表

第1回は、主査中西が、パス歩行列を応用したフォーム生成を活用することで上流工程の要求分析がどのように劇的に変わりうるかを説明し、参加者からも積極的な発言が飛び交う熱い研究会となりました。第2回は、これを受け以下2名の方による発表となります。

(1) 後藤秀宣氏（インクス株式会社代表取締役）

タイトル 概念帳票理論の行列を使った算法の解説

中西主査が提案したパス歩行算法の具体例から入り、理論との関係、プログラム実装との関係などに触れて、概念帳票理論の概要を前回とは異なる視点から理解します。

(2) 藤原紀章氏（北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科博士前期課程）

タイトル 「解釈学的データ中心アプローチと「ビジネス・オントロジー」の提唱

データ中心アプローチ（DOA）を解釈学的モデルとみなし、業務概念を整理する手法を説明します。業務概念は指示対象の粒度により「実体」および「属性」となり、業務の概念構造は実体の「関係」として形式化されることにより要求事項となります。発表では、この三者（実体、属性、関係）には、情報システム化される個々の業務の違いを超越した汎用モデルがあることを説明するとともに、オントロジーとしての表現可能性を考察します。

参加費：無料

参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

nakanishi-m@nagoya-ku.ac.jp 中西昌武（名古屋経済大学）宛て

以上